

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成29年 8 月 7 日

【会社名】 株式会社デイトナ

【英訳名】 DAYTONA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 織田哲司

【本店の所在の場所】 静岡県周智郡森町一宮 4 8 0 5 番地

【電話番号】 0538(84)2200

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 杉村靖彦

【最寄りの連絡場所】 静岡県周智郡森町一宮4805番地

【電話番号】 0538(84)2200

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 杉村靖彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社は、平成29年8月7日開催の取締役会において、株式会社ダートフリーク（以下「ダートフリーク」といいます。）および株式会社プラス（以下「プラス」といいます。）の株式を取得し、子会社化することについて、決議しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の概要

(ダートフリーク)

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容
(平成28年11月30日現在)

商号	株式会社ダートフリーク
本店の所在地	愛知県瀬戸市中水野町二丁目30番地
代表者の氏名	代表取締役 諸橋 勉
資本金の額	10百万円
純資産の額	591百万円
総資産の額	1,240百万円
事業の内容	モーターサイクル事業、サイクル事業 など

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	平成28年11月期
売上高	1,733百万円
営業利益	88百万円
経常利益	129百万円
当期純利益	80百万円

(注) グループ組織再編により、平成27年12月1日に現在のダートフリークを新設しております。
そのため旧ダートフリークの経営成績等は記載しておりません。

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	両社の間には、記載すべき資本関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間にも、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	両社の間には、記載すべき人的関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間にも、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	両社の間には、記載すべき取引関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間にも、特筆すべき取引関係はありません。

(プラス)

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容
(平成28年7月31日現在)

商号	株式会社プラス
本店の所在地	愛知県瀬戸市中水野町二丁目30番地
代表者の氏名	代表取締役 諸橋 勉
資本金の額	2百万円
純資産の額	10百万円
総資産の額	31百万円

事業の内容	バイクアフターパーツの小売店舗運営 など
-------	----------------------

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	平成26年7月期	平成27年7月期	平成28年7月期
売上高	40百万円	78百万円	138百万円
営業利益	3百万円	5百万円	6百万円
経常利益	3百万円	5百万円	6百万円
当期純利益	3百万円	4百万円	4百万円

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	両社の間には、記載すべき資本関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間にも、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	両社の間には、記載すべき人的関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間にも、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	両社の間には、記載すべき取引関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社の間にも、特筆すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社株式会社デイトナ（以下必要に応じて「デイトナ」といいます。）は、昭和47年（1972年）4月の創業から現在に至るまで、ジャンル別の企画・開発グループ組織と日本全国約4000件の販売先ネットワークを強みに、主にオンロードバイクジャンルにおける二輪アフターマーケットへサービスを提供しております。部品・用品の企画・開発・卸販売と海外一流ブランド用品・油脂類の日本販売代理権を保有、卸販売を行い、ライダーの趣向変化にいち早く追従し、近年ではバイクガレージの取扱いを開始、総合アフターパーツメーカーとして確固たるポジションを獲得しております。また、創業当時から欧米を主体とした、海外ディストリビューター向けのOEM商品の開発・調達・卸販売を行っております。更に子会社として3店舗のバイク用品店を運営する株式会社ライダーズ・サポート・カンパニー、インドネシアにて現地向けバイクのアフターマーケット部品・用品を企画・開発・卸販売するPT.DAYTONA AZIAを保有しております。

一方ダートフリークは平成2年（1990年）4月の創業から現在に至るまで、強固な海外製造拠点とオフロード専門技術を活用し、主にオフロードバイクジャンルにおける二輪アフターマーケットへサービスを提供しております。自社ブランド商品を企画・開発・卸・販売とワンストップでできることを強みに、日本国内でナンバーワンのシェアを獲得しているオフロード専門アフターパーツメーカーです。また海外取引にも注力しており、海外一流ブランド、オフロード装具類の国内販売代理権を保有、卸販売を行うとともに、海外への販売も積極的に行っております。また、プラスはダートフリークの用品販売店舗であります。

デイトナとダートフリークの両社がグループ会社化することにより、デイトナはダートフリークが長年にわたり確立してきた海外製造拠点を活用することで、新たなジャンルへの参入、既存商品については更なる収益性の向上、技術面においては相互の技術交換による、より独創的商品の創出が期待できます。ダートフリークにおいては、デイトナが保有するインドネシア現地子会社PT.DAYTONA AZIA、デイトナの既存取引先である欧・米・豪州を主体とした販売先を活用した販路の拡大等の期待が出来ます。両社においてこれらのシナジーの早期実現を目指し、子会社化することといたしました。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

(ダートフリーク及びプラス合算)

普通株式取得価格	412百万円
アドバイザー費用等(概算額)	約85百万円
合計(概算額)	497百万円

(注) プラスはダートフリークの用品販売店舗として事業を行っているため内部取引が多く、第三者機関による株価算定においても一体のものとして算定しているため、取得価額も合算で表示しております。